

挑め、ともに！

〓 小国高校魅力化通信④ 〓

「第8回全国小規模校サミット」

開催特別号

7月25日(金)と7月26日(土)の2日間、小国高校を会場として「第8回全国高等学校小規模校サミット」が開催されました。

平成30年度に始まり8回目となる今回は、全国9県(岩手、山形、福島、栃木、新潟、長野、徳島、高知、島根)のあわせて14校から119人の生徒が小国高校に集結し、小規模校の未来について語り合いました。



グループで地域課題の意見を出し合う



各校による取り組み紹介の様子

普段、全く異なる場所で学ぶ高校生たちが、小規模校というテーマで一堂に会し、それぞれの取り組みや直面している課題について話し合いを行うことで、多くの生徒が新たな気づきを得ることができたようです。

〓 参加した生徒の声 〓

「どんな状況でもコミュニケーションの力と情熱ですぐに仲良

くなれると実感できました。問題点や解決策も一つの考え方だけでなく、多くの意見を聞いて学んで、視野を広げられたと思います！」(岩手県立大迫高等学校生徒)

校生徒)

「3年間参加していて、今年が最後ののが本当に寂しいくらいに楽しいサミットでした。毎年各校から新たな学びを得て、遊佐高校に持ち帰ることができ

素敵な会だと思います。全国の小規模校生と考えを共有し合い、対話をし、新たな価値や風を吹かせられることは日本の未来を変えていく上で本当に大切だと思います。来年は大学生にはありませんが、ぜひ参加したいです！参加させてください！本当にありがとうございます！」(山形県立遊佐高等学校生徒)

「他の高校の生徒と話す機会は

少ないので、とても貴重な経験になりました。」(山形県立小国

高等学校生徒)

「初対面の皆さんとの交流を通して、コミュニケーションの力が高まったと感じています。」(山形県立小国高等学校生徒)

「今回聞いた参加校それぞれの取り組みを、小国高校にも活かせるように考えていきます。」(山形県立小国高等学校生徒)



第8回全国高等学校小規模校サミット